

宮本

陸

七月九日濟

電信寫

昭和6

平 北平 本省

七月九日前着

矢野參事官

第二五九號

幣原外務大臣

朝鮮人ノ暴行事件ニ關シ八日 Peking Reader 紙ノ所論左ノ通

朝鮮ニ於ケル虐殺事件ハ單ナル一時的衝動ニ驅ラレタル暴民ノ所爲ト見ル事ヲ得ス恐ラク大震災當時ノ支那人虐殺ノ如ク或種ノ秘密結社ノ所爲ナルヘク何人カノ煽動ニ依ルモノナル事疑ヒヲ容レス本暴動ノ損害ヲ賠償セシムルハ正義ノ要求スル處ニシテ直ニ中國カ日本ニ對シ武力ヲ以テ損害ノ賠償ヲ迫ル事ハ不可能ナルヘキモ充分ノ威嚴ヲ以テ在外臣民ノ保護ヲ要求スヘキナリ思フニ本件ハ日本帝國ニ

トリテ歴史上一大汚點ヲ印スルモノト見ルヘク日本カ支那ニ於テ其臣民ノ生命財産ニ有效ナル保護ヲ與フル強大ナル權力ヲ有シツツ其國內ニ於テ法律秩序ヲ維持シ得サル事ヲ暴露セルモノト云フヘシ代理公使、南京、奉天、吉林、長春へ轉電セリ

S 11107 064

S 11107 063

0049

REEL No. A-0058

アジア歴史資料センター

電信寫

七月拾日

陸

亨

昭和6

平

上海

七月九日後着

亞情

幣原外務大臣

第三〇二號ノ一

村井總領事

時事新報
萬寶山並ニ平壤事件ニ關シ九日ノ當地新聞論調中重ナルモノ左ノ通

萬寶山事件ニ關シ日本側カ武力掩護ノ下ニ水路工事ヲ繼續セントス
ルカ如キハ最早ヤ挑戰行爲ニシテ我國政府ノ軟弱ト人民ノ隱忍ナク
ハ最早ヤ戰爭狀態中ニアルヘシ七日ノ日本閣議ハ滿鮮ニ於ケル諸懸
案ノ解決ヲ計リ禍根ヲ除去スル爲關係各省協議ノ上今後ノ方針ヲ確
立シ交渉開始ニ資スル旨決定セル由ナルカ右ハ突發事件ヲ製造シ懸

案解決ノ名目ニテ侵略ヲ繼續セントスルモノナルヘシ
惟フニ懸案ノ解決及禍根ノ除去ハ不平等條約ノ根本的排除ヲ置キテ
他ニ方法無カルヘシ若シ然ラスハ懸案ハ愈々多ク禍根亦深キヲ加フ
ヘシ要スルニ國民ノ憤激ハ既ニ極點ニ達セル所之方緩和ハ我國輿論
ノヨクスル處ニ非サルヲ以テ此危穢ノ挽回ハ日本ニ於ケル輿論ノ力
アルノミナリ(續ク)

S 11107 066

S 11107 065

0050

電信寫

和 6

平 上海
本省

七月九日 後着

亞 情

幣原外務大臣

第三〇二號ノ二

民國日報

村井總領事

日本ハ從來對華ニ重外交ノ稱アル滿鮮統治機關（脱）通セルカ今次ノ萬寶山事件ハ鮮人ヲ利用セル侵略政策ノ暴露ニシテ又所謂一外交ノ第一聲ナリ此際國民ハ宜敷一致シテ當局ヲ督促シ正々堂々ノ外交ヲ爲サシメ國權ヲ擁護スヘキナリ惟フニ東三省ヲ日本ノ侵略ヨリ免レントセハ日本帝國主義ノ打倒アルノミナリ

新聞報

今次事件ニ關シ日本政府ハ閣議ニ於テ救恤金ノ交付ヲ決定シ又ハ我國ニ對シ遺憾ノ意ヲ表シ事既ニ終レリト爲シ居ルカ如キモ賠償ハ免レサルノミナラス遺憾ノ意ヲ表シタルカ如キハ單ナル禮節ノミナルカ事變ノ責任及處分問題ニ關シ認識セサル如ク粧ヘルハ奇怪ナリ云々

申報

日本政黨間ニ於テハ今次事件ヲ軟弱ナル幣原外交ノ結果ナリト論難シ居ルカ如シ近世國際間ニ於テ公理ニ背キタル強硬政策ノ頼ムニ足ラサルハ事實ノ示ス所ナリ吾人ハ此危機ニ際シ日本側カ滿蒙ノミニ熱中シ其他一切ノ問題ヲ顧ミサルカ如キ無キヲ望ム（續ク）

S 11107 068

S 11107 067

0051

秘

字拓

七月拾日濟

昭和6

平

上海
本省

七月九日後着

亞情

村井總領事

幣原外務大臣
第三〇二號ノ三
上海「タイムス」

朝鮮暴動ハ人道上ノ悲劇タルノミナラス日本政治家カ近年日支關係好轉ノ爲盡セル不斲ノ努力ヲ無ニスル意味ニ於テモ悲劇ト謂フヘシ日支交渉上稀ナルオト生來ノ能力ヲ以テ過去ニ於テ日支雙方カ犯セル過ヲ是正スルニ多大ノ貢獻ヲ爲セル重光代理公使カ今回ノ事件ニ就テモ兩國民ノ感情ノ激發ニ依リ日支國交上憂フヘキ事態ノ發生ヲ顧念シ逸早く「ステートメント」ヲ發表セルハ誠ニ機宜ノ措置ト謂フヘシ

電信寫

本事件ノ蔭ニ潛ム最モ大ナル危險ハ兩國ノ好戰論者カ之ヲ利用セントスルコトニシテ日本ニ於テハ政友會ハ既ニ本事件ノ發生ヲ以テ幣原外交ノ軟弱ニ起因ストテ内閣攻撃ヲ始メ中國ニ於テハ滿洲出兵說等無稽ノ巷說ヲ流布シ民心ノ煽動ニ努ムル者アルモ日本政府ハ本件ノ發生ヲ遺憾トシ暴動鎮壓ニ全力ヲ盡シツツアル次第ナレハ中國側ニ於テモ自重ヲ希望セサルヲ得ス
北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、瀋陽、南京、揚東、朝鮮總督
ヘ轉電シ、代理公使ヘ轉報セリ

S 11107 070

S 11107 069

0052

電信寫

七月拾日濟

陸 軍 部

昭和6

平 上海

本省

七月九日後着

村井總領事

村井總領事

第三〇三號

九日ノ「チャイナ、プレス」ハ八日南京發特電トシテ外交部ニ於テハ萬寶山事件ハ地方的問題ニシテ責任アル地方官憲ニ依リ解決スヘキモノナリトスル意見ナルカ如ク右總旨ニ基キ外交部ヨリ關係方面ニ對シ交渉依頼リ電訓濟ナルコト及朝鮮各地ノ領事ニ對シ日本政府トノ交渉ニ資スル爲今回ノ暴動ニ依ル支那人ノ被害狀況報告方訓令セラル旨報道セリ

北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、開島、天津、漢口、濟南、青島、廣東、南京、揚東長官、朝鮮總督へ轉電シ代理公使へ轉報セリ

S 11107 071

0053

秘

トワサセ送致

電信寫

昭和6

暗

吉林省

七月九日 前着

亞

石射 總領事

第四四號 (至急)

朝鮮ニ於ケル難支人衝突事件ニ關シテハ當國ニ於テハ八日ノ吉長日
報カ上海電報トシテ外交部ニ萬寶山問題ニ關シ六日東北政府委員會
ニ電報シ其真相ノ報告ヲ求メタルカ華人ノ華僑ヲ殺セルモノ平
壤最モ激シク六日ノ死傷ハ數百人ナリ上海各團體ハ六日聯合シテ外
交部ニ進言シテ嚴重交渉ヲ要求シ華僑排斥ハ某國力意ヲ授ケタルモ
ノナリト時シ辭句復讐ヲ極ムト簡單ニ報シ居ルノミナルカ(新聞記
事ノ取寄ニ付テハ省政府トモ諒察ヲ幾ケ置キタリ) 追々「センセイ

シヨナル」ノ通信記事カ紙面ニ表ハルルハ免レサルヘク又謠言モ盛
トナルヘシト存セラルル感支那民衆殊ニ學生等ハ勢ヒ之ニ刺戟セラ
レ何等カ運動ヲ起スモノト豫期セサルヘカラス其場合當地ノ如キ風
立無援ノ場所ニ於テハ如何ナル事變カ發生スヘキヤ想像ニ餘リアル
ヲ以テ之カ嚴重取締方ヲ往電第四三號會議ノ節照參議長ニ特ニ念ヲ
押シ置キタル次第ニシテ又之等運動ノ場合ノ措置ニ於テハ出來得ル
限り善慮スル覺悟ニシテ形勢愈不穩ナル場合ニハ居留民ノ引揚ヲ斷
行スル積リナルカ速急ノ場合ニハ之モ實行不可能ナルノミナラス支
那側ノ保護ニ如何ナル程度迄信頼シ得ルヤ懸念ニ堪ヘス右ハ哈爾濱
其他ニ於テモ同様ナルヘキヲ以テ事變ニ依リ必要ニ迫ラレタル場合
直ニ沿線電氣ノ保護ヲ受ケ得ル様萬一ノ場合ノ爲豫メ至急御措置ヲ
ヲ仰キ度ク結果御回電ヲ請フ

長春、哈爾濱、齊齊哈爾、奉天、開島、北平、代理公使、駐東長官

朝鮮總督へ轉送セリ

S 11107 073

S 11107 072

0054

七月十日濟
字
院

電信寫

昭和6

平 吉林

本省

七月九日後着

亞

幣原外務大臣

第四六號

石射總領事

石射總領事

萬寶山及朝鮮事件ニ關シ九日ノ當地吉長日報ハ左記要領ノ各地電報
ヲ特筆大書掲載シ居レリ(七日南京發)外交部ハ在日公使ニ電訓シ
華僑排斥事件ニ關シ嚴重抗議セシメタル一方重光代理公使ニ囑シテ
モ抗議シ鮮人ノ暴行取締今後ノ方法ヲ要求シ且賠償要求權ヲ留保セ
リ
(南京七日發)六日京城支那領事館發外交部宛電報ニ依レハ京城及
仁川ニ於ケル支那領事館ヘノ避難者七千人ヲ超ヘ五日平壤ノ大暴動

ニ於テ華商全滅損失四十萬重傷數十死亡者十八ナリ
(上海八日發)七日重光代理公使ハ聲明書ヲ發シ朝鮮事件ハ在滿鮮
人ノ壓迫ニ對スル反感ヨリ發シタルモノニシテ實ニ遺憾ナリ
日本ハ全力ヲ以テ暴徒ヲ鎮壓スヘシ日本カ吉林省ヘ出兵スヘシトノ
說ハ全然無根ナリト云ヘリ
(南京七日發)中央政府ハ萬寶山問題及朝鮮事件ニ關シ速カニ日本
ニ對シ嚴重交渉スルト共ニ東北政府ニ對シ如何ナル形式ヲ以テスル
モ自ラ之等ノ問題ニ付交渉ヲナスヲ禁スル旨訓令シ並ニ全國ニ一致
抗爭方捕令セリ
奉天、長春、哈爾濱、齊齊哈爾、間島、北平、南京、支、關東長官
朝鮮總督ヘ轉電セリ

S 11107 075

S 11106 074

0055

REEL No. A-0058

電信寫

秘

七月拾日濟

字 抄

昭和6

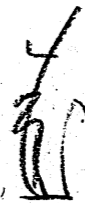
暗 哈爾濱 本省

七月九日後着

亞

幣原外務大臣

第一二〇號



大橋總領事

七日ノ漢字紙ハ萬寶山事件ニ關スル諸種ノ報道ヲ大袈裟ニ擲ケ且日
 本側ノ不當ヲ鳴ラシタル論說ヲ發表シタル外朝鮮ニ於ケル暴動ニ關
 シ公報ハ奉天特電トシテ右暴動ハ日人ノ煽動ニ起因シ暴民中ニハ日
 本浪人有リ即チ午前迄ノ中國人死者廿九名者二百ニ及フ云々ト報シ
 又國際協報ハ官民兇暴ヲ繼續シ華僑死傷數百ニ達ストノ大見出ニテ
 京城來電ヲ詳報シ排日氣分ヲ煽リ居レリ
 支、奉天、南京、吉林、長春、北平、朝鮮總督へ轉電セリ

新聞

S 11107 076

0056

電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人事

文書

會計

寫送先

(分類 11.1.0.20-2)

昭和6

九〇一一

暗

哈爾濱
本省

九日後發
七月十日後着

亞

幣原外務大臣

第一二七號

本官發朝鮮總督宛電報第一五號

貴電ニ關シ

當地中國人ハ一般ニ萬寶山事件ノ非日本人ニアリト確信シ當方ノ反駁ニ對シテ耳ヲ傾ケス内心憤慨シ居リタル矢先鮮内地ニ於ケル暴動起リ而モ日本人ノ指曠ニ依ルモノト邪推シ深ク憤慨シ居ル模様ナルモ當地地方ニ於テ報復的暴動起リタル場合ニ於ケル重大ナル結果ヲ顧慮シテカ新聞ニ書立ツル以外排鮮又ハ排日ノ表面化セサル様努メ居

外務省

ル模様ニテ唯既電ノ通鮮人兒童ニ對スル暴行決餘縣及綏化ニ於ケル鮮農追出問題並七日夜當地新聞及學生代表カ會合シテ拒韓會ナル團體ヲ組織シテ鮮人排斥大會開催ヲ決議シタルモ警察當局ニ於テ之ヲ慰撫シツツアリトノ情報アリ斯様ノ情勢ノ下ニアリテハ暴動等ノ導火線トナルヘキ突發事件ノ發生ヲ防止スルコト必要ト認メ前記鮮人學校モ九日ヨリ臨時的ニ休校セシメ一般鮮人ニ對シテモ自重ヲ促シ一方極力支那側ノ取締ヲ刺戟シツツアリ唯茲ニ氣遣ハルルハ奥地ニ住ム三萬數千ノ鮮人ノ運命ニテ將來朝鮮暴動ノ真相ヲ傳フル宣傳員ニテモ入込ム様ノ場合ニ追出等ノ運動起ラストモ限ラス
尙一般鮮人ハ事件發生後戰々兢々タル有様ニテ中ニハ鮮内地ヨリ滿洲居住ハ危險ニ付歸鮮スヘキ旨電報ヲ受ケタルモノモアリ勿論今後

外務省

S

11107

078

0058

S

11107

077

記

0057

ノ事態ハ本件ニ關スル日支交渉ノ進展如何ニカカハルモ差當リノ策
トシテハ貴地方ヨリ日本人煽動ノ事實ナキコト犯人ノ逮捕處罰被害
者救助等ニ關スル情報ヲ成ルヘク放送サレ當方面中國人心ノ鎮靜ニ
資セラルルコト差當リ必要ト思考ス
大臣へ轉電セリ

外
務
省

[S] 11107 079

0059

REEL No. A-0058

0048

アジア歴史資料センター

秘

高松

陸

七月拾日

電信寫

昭和6

安東 本省

七月九日前着

米澤領事

照

第一〇三號

注冊第一〇二號ニ關シ

一 中日双方警察ニ於テ敵背警戒ニ任シ殊ニ一般鮮支人ニ對シ早寢ヲ
 促シ戶外集團ヲ禁シタルカ爲昨七日夜ハ一般ニ平穩ニ經過シタリ
 昨午後十一時頃鴨綠江中ノ島ニ於テ六十餘名ノ鮮人暴民中國人苦力
 小屋ヲ襲ヒ棍棒窟口ヲ以テ暴行シ死者一名輕傷者三名ヲ出タセリ
 二 本八日王縣長本官ヲ來訪シ我方嚴重ナル取締ノ爲中國人ニ危害ヲ
 受ケタル者ナキヲ謝シタル上在新義州中國領事ノ報告ニ依レハ今次

鮮人暴動ノ背後ニアリテ糸ヲ引ケリト認メラルル不良鮮人數名平壤
 ヲリセンシユ一ヲ經由シ其一部ハ既ニ安東ニ入込メリトノ噂アルニ
 付亦分警戒ノ上一般鮮人ニ對シ煽動ノ機會ヲ與ヘサル様措置アリタ
 キ旨懸請セリ依テ直ニ警察ニ於テ手配中ナリ
 三 平壤ヨリノ電話ナリトシテ安東ヨリノ通報ニ依レハ明朝臨時
 列車其他ニ約二千名ノ中國人同方面ヨリ當地ヘ避難シ來ル趣ノ報
 縣長ノ語ル處ニ依レハ昨七日中棚場活動黨偵察等ニ收容シタル避難
 民ノミニテモ千七百名ニ達シ旅館其他親戚知人等ノ宅ニ寄食スル者
 ヲ合スレハ三千名近クニ上ル趣ニシテ此ノ上ノ收容ハ誠ニ困難ナリ
 トテ警戒ノ色ヲ浮ヘタリ目下右事實ノ眞否平壤當局ニ照會中ナルカ
 不取敢多數避難民アルモノトシテ何等手配スルコトニ打合セタリ
 支ヨリ南京ヘ轉報ヲ請フ

支、北平、奉天、長春、吉林、閩島、關東長官、朝鮮總督、哈爾濱

へ轉電、瀋陽、鐵嶺、牛莊、鄭家屯へ電報セリ

S 11107 081

S 11107 080

0060

REEL No. A-0058

傳單ノ大要

- 一、有血性的國民快々起來的、日本奮闘
- 一、要想使用國不忘先取消日本在東省建築之野心
- 一、要同胞一齊起來取消日本的築路
- 一、同胞們快他胞打日本
- 一、同胞們要振刷精神來抵抗日本
- 一、打倒日本侵畧滿洲的野心
- 一、救國就是保護家庭
- 一、日本侵畧基於洪水猛獸
- 一、要與日本經濟施交給他不合作
- 一、抵抗日本建築五路
- 一、打倒日本在滿洲一切權利
- 一、收東省鐵路打倒日本
- 一、日本視吾孱弱無能

其他多數アルモ大同小異、府省畧ス

在長春日本領事館農安分館

11107 085 11107 084 0063

REEL No. A-0058

皇親御用

六外親第一〇〇一六號

昭和六年七月九日

長崎縣知事 小柳 牧衛

教目

昭和六年七月拾參日
萬原山ノ件
櫻白突使
0064

内務大臣 安達謙藏殿
外務大臣 幣原喜重郎殿

警視廳 北海道神奈川

大阪兵庫山口福岡各長官殿

滿鐵正副總裁更迭ニ對シ

排日宣傳ノ新聞記事ニ関スル件

分類 1110.20-2

S 11107 086

(記事要旨)

一、最近日本ハ警吏ヲシテ吉林、萬寶山ノ鮮人ヲ監督シ福田開墾ヲ積極的ニ行フノミナラス永久的ニ一師團ヲ滿州ニ駐在セシメントシフ、アリ

二、内田伯ノ滿鐵總裁任令ハ東北ニ對スル所謂大陸政策ヲ貫徹セントスルモノナリ

三、曰ク危険存亡ノ東北地方挽救ニ努力セサル可ラス

本月五日上海ニ於テ発行ノ中國新聞「民國日報」ニ「滿鐵正副總裁赴任ス」ト題シ排日煽動宣傳ト目サル、左記々事登載有之御參考迄及申(通)報候也

S 11107 087

記

鐵嶺採炭事業ノ壟斷ヲナシ特ニ鐵道事業方面ニ對スル利益壟斷ハ甚クシク内田伯赴任後ノ中日鐵道交渉ハ即チ今後最重要ナル問題テアル日人ハコノ種積極侵略政策ノ下ニ於テ其ノ主ナル中國人ニ代ラントスルノ醜態ヲ演シテ居ル。最近日警ハ又吉林、萬寶山、鮮人ヲ監督シ福田開懇ヲ積極的ニ實行シ又二年交代制ヲ廢止シ日本内地ヨリ一師團ヲ永久的ニ滿州ニ駐在セシメントシテ居ル。凡ソ之等ハ種々ナル計畫ハ皆

S 11107 088

0065

日本人ノ東北ニ於ケル勢力ヲ日ニ増大セシメントスルモノナル事ヲ表示スルモノテアル。國民政府統一以來東北ノ政治ハ皆中央ノ指導ヲ受ケ東北ノ民衆モ以前ニ比シ覺醒スルニ到ツ。是ニ於テ日本人ハ即チ大難來ト称シ惡辣計畫ヲ作成シ今即チ滿鐵總裁ヲ更改シ内田伯ヲ任命スルニ到ツノテアル。然シテ内田伯ハ先ニ濟南事件發生以後英國ニ赴キ日英同盟恢復ヲ遊説シタノテアルカ其ノ真目的ハ英國ノ援助ニ依リ中國ヲ抑制スルニ在リタルモノナレバ

S 11107 089

今日内田伯ヲ滿鐵總裁ニ任命スレハ必ス其ノ所謂大陸政策ヲ貫徹スルモノテアリ我東北ハ益々危機ニ瀕スルノテアル。

吾人ハ内田伯ノ滿鐵總裁任命ニ依リ日人ノ我東北ニ對スル万策ハ如ナルモノナルヤヲ知り得ルノテアル。故ニ吾人ハ我東北ヲ保護シ我山河ヲ保全セシトスルナラバ、則チ計畫的組織的大規模ノ計畫ヲ以テ努力セネハナラス。日本人ハ三オ一童子ト虽モ東北ノ富ヲ知り躍然トシテ行カン事ヲ請フノテアリ。最近日人ノ東北考察ニ赴ク者

ハ絡繹トシテ居リ昨年ノミニテモ十六萬ニ達スト言ハシテ居ルノテアルカ我國人ハ如何テルカ？ 内田伯ノ赴任ハ我國ニトリテハ既ニ危機ニ瀕スル事件テアル。我等ハコノ危急存亡ノ時方ニ日人ノ鐵蹄下ニセビントスル東北挽救ニ努力ス可キテアリ。之我カ國人雷然ノ責任テアル。

S 11107 091

S 11107 090

0066

98

(分類 1,1,0,20-2)

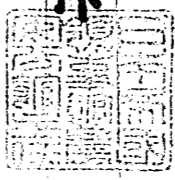
昭和六年七月十日

八三

昭和六年七月十日

在農安

分館事務取扱 水野長作



外務大臣男爵幣原喜重郎殿

排日の示威運動之関スル件

當地農安中學校學生等ノ排日の示威運動ニ関シ昨九日附機密公第八二號私信ヲ以テ報告申進置キタル通ナル處其後ノ情報ニ依レハ該中學校學生等ハ昨九日又運動ヲ續行シ當館及邦人宅ヲ襲撃破壊スルノ計画アルトヲ探知シタルニ付小官ハ本日金公安局長(孫縣長旅行不在)ヲ往訪シ學生運動ノ取締方ヲ申ヘタル處金公安局長ニ於テモ此ノコトヲ探知シ昨九日早朝巡警三十名及保衛隊兵士二十名ヲ率ヒ中學校ヲ包圍シ各門ヲ鎖シ自ラ學生等ヲ説得シタルモ游行ヲ主張シテ肯セサルヲ以テ吉林教育廳ニ向ケ電報照會シタル處該廳ヨリハ此際學生ノ斯種運動ヲ嚴禁スル旨ノ回答アリタルニ付其旨學生等ニ諭示シタルニ猶且ツ承服セズ嚴重警戒中縣教育局長モ來場種々協議ノ結果來ル二十日ヨリ夏季休暇ナルヲ十日間繰上ケ承日ヨリ休暇ヲ與ヘ各學生ニ命シタルニ彼等學生ハ各自家郷ニ向ケ出發シタルニ付最早顧慮スヘキ事故ナキ旨倉長ノ直話ナリシヲ以テ其勞ヲ褒トシ現下ノ重要時期ニ際シ不祥事件ノ突發セサル様細心ノ注意ヲ拂ヒ將來共嚴重取締アリントヲ申シタル迄ヲ伏諾シタリ

在長春日本領事館農安分館

一般市民、學生等ノ運動ヲ一笑ニ附シ居ル状態ニテ至極早

記録簿
排日運動
昭和六年七月十日

昭和六年七月十日

0067

S 11107 092

S 11107 093

總ナリ

右何等為御參考報告申進ス

本信寫送付先

在長春、在奉天、在吉林、各總領事及領事

在長春日本領事館農安分館

S

11107 094

00 068

REEL No. A-0058

0058

アジア歴史資料センター

秘

宮

陸

七月拾一日

電信寫

昭和6

暗

北平 本省 七月十日後着

照

幣原外務大臣

第二六〇號

往電第二五七號ニ關シ

矢野參事官

矢野參事官

萬寶山事件ニ引續ク朝鮮事件ハ鮮カラス當方面人心ヲ刺戟シ既報ノ
通新聞論議ハ相當尖鋭化シ居ル處原田カ當地來訪ノ加藤代議士ト同
道七八日應訪セル湯爾和王樹翰、于學忠、周大文、危道豐、周作民
周龍光等ハ本件ニ關シ大体左ノ趣旨ヲ述ヘタル由
朝鮮ニ増兵シ滿洲ニ常駐師團ヲ設置ニ決定スル等滿洲ニ對シ積極的
野望アルカ如キ印象ヲ一般支那側ニ與ヘ居ル際故本件取扱ノ具合ニ

依リテハ輿論更ニ極化ノ虞アル故急遽回鑿ニ本件ノ解決ヲ計リ且ツ
之ヲ機會ニ一般滿洲問題ニ關シ中日相互間ニ懸念ナキ聯合ヲ遂ケラ
ルル様希望ス
支ヨリ上海、南京へ轉報アリタシ
支、漢口、廣東、青島、濟南、天津、奉天、吉林、哈爾濱、長春へ
轉電セリ

S 11107 110

S 11107 109

0069

電信寫

七月十日
陸 軍 部

昭和6

略

北平
本省

七月十日 後着

亞

矢野參事官

幣原外務大臣
第二六三號

往電第二五三號ニ關シ

各漢字紙ハ引續キ一萬崙山日軍極力挑戦ス頓壕ヲ掘リ民家ヲ占領シ
徹夜烽火ヲ擧ク一日本遺憾ノ意ヲ表ス但シ責任ヲ回避シ且事件ニ
藉口シテ懸案ヲ解決セントス一等大見出ニテ各地來電及北平市黨
部北平新聞記者公會ノ通電ヲ掲載セルカ八日ノ益世報ハ中國當局ノ
本件ニ對スル措置ノ緩漫ナルヲ非難シ速ニ嚴重日本ニ抗議シ事件ノ
擴大ヲ防止スヘク國民及最高幹部ハ外交當局ヲ鞭撻スルヲ要スト論
シ居レリ

支。天津、吉林、長春。哈爾濱へ轉電セリ

S

11107 111

0070

電信寫

七月拾日濟

陸 隆

昭印6

平 北平

本省 七月十日前着

亞

矢野參事官

第二六四號

九日ノ華北日報及北平晨報ハ「朝鮮ノ華僑慘殺ハ完全ニ日本人ノ煽動ニ依ル日人ハ萬寶山事件ニ藉口シテ鮮民ヲ挑發セリ」等大見出ニテ八日京城ヨリ歸平セル京城大學教授董長治（當館調査ニ依レハ京城大學教授中ニハ董ナル者見當ラス或ハ學生ニハ非サルカ）ノ會見談ナルモノヲ掲ケ居レルカ其一節左ノ如シ
兩三年前朝鮮當局ハ鮮人勞働者ノ失業ニ顧ミ京城ニ於ケル中國勞働者ノ使用ヲ制限シテヨリ兩國人民間ノ感情非常ニ惡化シタル慮他方

日本帝國主義者ノ宣傳員ハ客年間島事件當時排華ヲ煽動セルモ遂ニ實現セサリシカ今次萬寶山事件起ルヤ朝鮮各地ニ於テ號外ヲ發行シ激越ナル言辭ヲ以テ宣傳ニ努メシ爲メ鮮人ハ大イニ衝動ヲ受ケ五日以降ノ暴動トナレルモノナリ云々
代理公使、南京、奉天、吉林、朝鮮總督府ニ轉電セリ

S 11107 113

S 11107 112

0071

昭和6

北平
本省

七月十日 後着

亞

矢野參事官

第二六五號

往電第二六三號ニ關シ

十日ノ各紙ハ引續キ「人類ヲ汚辱セル日本朝鮮人ヲシテ領事館ヲ襲撃セシム遭難華僑三千逃避ノ法ナク死傷累累芝罘ニ避難セル同胞ハ日本警官ノ欺行ヲ指摘セルヲ目撃セリ」在韓華僑ノ慘殺事件ヲ直接日本人ノ暴行ト認ムヘシト大見出シニテ副司令部行營ノ接受セル京城中國領事ノ報告山東福山縣黨部等五十六團體ノ通電南京中央黨部北伐誓死記念日ニ於テル部力子ノ演說ニ關スル電報等ヲ掲載シ居

電信寫

レルカ北平新報京報等ノ社説大要左ノ通

(一) 排華事件ハ日本ノ傳統的對華優略政策ノ表現ニテ鮮人ハ單ニ道具タリシニ過キササルハ田中首相ノ上奏文ニ依ルモ明カナルカ日本ハ最近米國カ歐洲問題ニ没頭シ當方ヲ顧ミル邊ナク又蘇聯トノ諸問題片付ケル折柄國內ニテ幣原外交ニ對スル攻撃アリ正ニ滿蒙政策ヲ實現スルノ好機會ニアリ遂ニ事件ノ勃發ヲ見タリ

(二) 鮮人ノ排華暴動ニ依リ日本ハ華僑並ニ鮮人ヲ一舉ニ全滅セシメ得ヘキモ自ラ國際信義ナキコトヲ世界ニ向テ表示スルモノナリ尙日本側ハ萬寶山事件ノ解決ヲ傳ヘ居レルカ果シテ地方當局ニ於テ屈辱的讓歩ニ依リ解決セルニ於テハ賣國ノ責ヲ負フヘ(キ)モノニシテ又外交當局ハ朝鮮事件ニ付相當ノ責任ハ免カレス

支、奉天、吉林、長春、哈爾濱、南京、天津へ轉電セリ

S 11107 115

S 11107 114

0072

電信寫

22
7
し

昭和6

平 上海

本省

七月十日 後着

亞、情

幣原外務大臣

村井總領事

第三〇五號 (至急)

十日ノ當地漢字諸新聞及「チヤイナプレス」ハ九日北平發特電トシ
テ副司令部カ奉天ヨリ接受セル急電ニ依レハ京城ノ中國總領事館ハ
八日夜三千ノ暴徒ニ襲撃破壞セラレ館内ニ避難セル華僑七千中ニハ
死傷多數ノ見込ナルカ張總領事ハ身ヲ以テ總督府ニ避難セリ其他平
壤、仁川等ノ各地ニ於テモ華僑住宅ノ燒打セラレタルモノ數十ニ達
セル旨又同日北平發路透モ半官消息トシテ總領事館ハ掠奪破壞セラ
レ避難中ノ華僑ノ死傷セル者五百名ニ及ヘル由ナルカ右ハ未タ「コ

ンフアーム」セラレサルモノナル旨大見出ニテ特報シ居レリ
右ニ關シ新聞報ハ社説ヲ掲ケ右報道ハ未タ遠カニ信シ難キモ暴動勃
發後數日ヲ經タルニ又復領事館ヲ燒打シ避難民ヲ慘殺スルカ如キハ
國際間稀有ノ暴行ニシテ其間内幕アルヲ疑フ旨論評セリ右不取敢
代理公使へ轉報シ北平、奉天、吉林、哈爾濱、長春、間島、嶺東、
南京、天津、濟南、青島、漢口、關東長官、朝鮮總督へ轉電セリ

新南

S 11107 117

S 11107 116

0073

REEL No. A-0058

電信寫

返
す

秘

昭和6

略

上海
本省

七月十日 後着

亞

幣原外務大臣

第三〇六號 (至急)

往電第三〇五號ニ謝シ

若シ虛報ナルニ於テハ時機ヲ失セス打消スノ必要アルニ付真相至急

御回電ヲ請フ

前電ノ通轉電セリ

村井總領事

村井總領事

S 11107 118

0074

REEL No. A-0058

0068

アジア歴史資料センター

電信寫

七月拾壹日濟

陸 宇 龍

昭和六

平

上海 本省

七月十日 後着

亞情

略原外務大臣

第三〇八號

村井總領事

九日ノ「イヴニングポスト」ハ其社説ニ於テ朝鮮暴動ト題シテ日本官憲カ約百名ニ近キ支那人ノ殺害ヲ防止シ得サリシハ治外法權ニ關スル日本ノ地位ヲ弱ムルモノニシテ日本カ朝鮮ニ於ケル支那人ヲ保護シ得サル場合支那ニ於ケル日本人ノ保護ヲ要求スルハ無理ナリ兎ニ角朝鮮暴民カ治外法權ニ關スル總テノ外國人ノ地位ヲ弱メタルハ甚タ不幸ナリト論シ次イテ日本新聞ノ論調ノ公正ナル事日本政府カ關係鮮人ヲ嚴罰シ被害支那人ニ賠償スヘキ旨聲明セル事ヲ指摘シ唯

日本側カ暴動ノ原因ハ在滿鮮人ニ對スル支那人ノ不法壓迫ニ起因ストノ理由ヲ以テ日本政府ノ責任ヲ否認セント企テタルハ感心出來ストノ主旨ヲ述ヘ居レリ
北平、奉天、哈爾濱、吉林、長春、間島、南京、關東廳、朝鮮總督ニ轉電シ代理公使ニ轉報セリ

S 11107 120

S 11107 119

0075

秘

字
陸

七月拾日濟

電信寫

和6

暗 上海 七月十日後着



村井總領事

亞

0076

第三〇九號

幣原外務大臣

萬寶山事件ニ關聯シテ突發セル鮮人暴行事件ハ在滬鮮人ニ對シ相當衝動ヲ與ヘタル模様ニシテ民族派幹部連ハ本件ヲ以テ在華鮮人ノ死活ニ關スル重要問題ト爲シ之カ善後策ニ付協議ヲ重ネタル結果本月八日臨時政府外務部長^{趙秉世}ヲシテ在滬民族派鮮人ヲ代表シテ當地市政府、市黨部、警備司令部等ヲ歴訪セシメ「今回ノ事件ハ全ク日本ノ使、煽動ニ依ル鮮内親日派鮮人ノ暴行ニシテ日本ノ北滿侵略陰謀政策ニ利用セラレタルモノナルヲ以テ我等ハ極力中國民衆ト協

S 11107 121

カシ決死的對日行動ヲ執ルニ躊躇セサルモノ」ナル旨述ヘシメテ中國側ノ甘心ヲ求メ事態ノ緩和ニ努ムルト同時ニ同日更ニ臨時政府外務部長ノ名ヲ以テ中國新聞ニ聲明書ヲ發シタルカ一般鮮人ハ何時中國人ノ復讐行爲アルヤモ計ラレスト爲シ内心頗ル恐怖シ該事件カ華兩國ノ交渉ニ依リ解決ノ速カナランコトヲ切望シ各自自重警戒ツツアリ中國側並佛租界及共同租界警察當局ニ於テモ萬一ヲ慮リ當警戒ヲ加ヘツツアルカ今日迄ノ處鮮人ニ對シ特ニ保護ヲ要スル如キ事態未タ發生セス

S 11107 122

南京、北平、奉天、哈爾濱、吉林、長春、間島、天津、青島、濟南、漢口、福州、廣東、關東長官、朝鮮總督ニ轉電シ代理公使ニ轉報

電信寫

七月十日發
陸 宇 如

昭和6

略原外務大臣

暗 齊齊哈爾
本省

七月十日前着

清水領事

照

第二〇號

鮮内支那人排斥ニ對スル當地方一般官民ノ態度ハ九日夕刻迄ノ處變
リ無シ新聞紙モ事實ヲ報道スルニ止メ煽動的記事ヲ掲ケ居ラス尤モ
省黨部及學生方面ニテハ此際何等カ排日鮮運動ヲ行ハント計畫シ居
ルニアラスヤト疑ハルル節アリ警戒中
代理公使、北平、哈爾濱、吉林、奉天へ轉電シ滿洲皇へ暗送セリ

S 11107 123

4077

機密公第二八三號

昭和六年七月十日

在長春
領事 田代重



外務大臣 男爵幣原喜重郎殿

萬寶山問題等ニ關スル反日運動ニ對シ城内
商務會ノ態度報告ノ件

長春城内商務會常務委員史煥亭ヲ語ル處ニ據レハ同會ハ本月七日
午後二時長春教育聯合會ヨリ萬寶山問題等ニ關聯シ同日午後六時
ヨリ教育會場ニ於テ日貨排斥ノ方策討議シタキ旨案内狀ニ接シタ
ル處商務會側ハ現在ノ市況ニ鑑ミ此際排日騒キニ參加ヲ許サル實
情ニアルモ一方萬寶山問題等モ重大ナル關係ニアリ旁々商務會主
席孫大有ハ商務會ノ態度ヲ決スルノ要アリトシ早速役員ヲ召集シ
協議シタル結果トシテ同商務會ハ各方面ヘノ通電ニハ連名參加ス
ヘキモ排日直接行動ニハ關與セサルコトニシ教育聯合會ヘノ出席

在長春日本帝國領事館

非日關係



昭和六年七月拾七日

S 11107 124

0078

ヲ差控ヘタリ但シ各自勝手ニ參加シ排日行動ヲ敢テスルモノニハ
特ニ干涉ヲ加ヘヌコト及右參加者ニシテ若シ他日問題ヲ惹起シタ
ル場合ハ商務會トシテハ其行動ニ對シ責任ヲ負ハサル旨ヲ明瞭ニ
シ置クコトトセリト

右報告ス

本信寫送付先 臨時代理公使 奉天 吉林

在長春日本帝國領事館

S 11107 125

0079

排日鮮運動
計畫

【奉天九日暴動】翌日、朝鮮國内外
交際會は十二日、排日鮮運動を提議
事件を端に大々的排日鮮運動を
起すこととなり、且下層階級
十數万枚を印刷するが、ある
日は昭和二年の田中内閣反對の排
日運動の如く大排日鮮運動になり
はせぬかと憂慮してゐる

中外新聞

排日

河原代

S 11107 138

0081

林

排日大運動計畫

選挙國民外交協會の策動

【奉天九日暴動】翌日、朝鮮國内外
交際會は十二日、排日鮮運動を提議
事件を端に大々的排日鮮運動を
起すこととなり、且下層階級
十數万枚を印刷するが、ある
日は昭和二年の田中内閣反對の排
日運動の如く大排日鮮運動になり
はせぬかと憂慮してゐる

白日新聞

排日

河原代

S 11107 137

0080

林